



山梨県民は「お付き合い」が大切

山梨県には「無尽（むじん）」という独特の習慣があり、人と人とのつながりを大切にする県民性がよくいわれているところですが、統計上では、どのような数字となっているのでしょうか…。

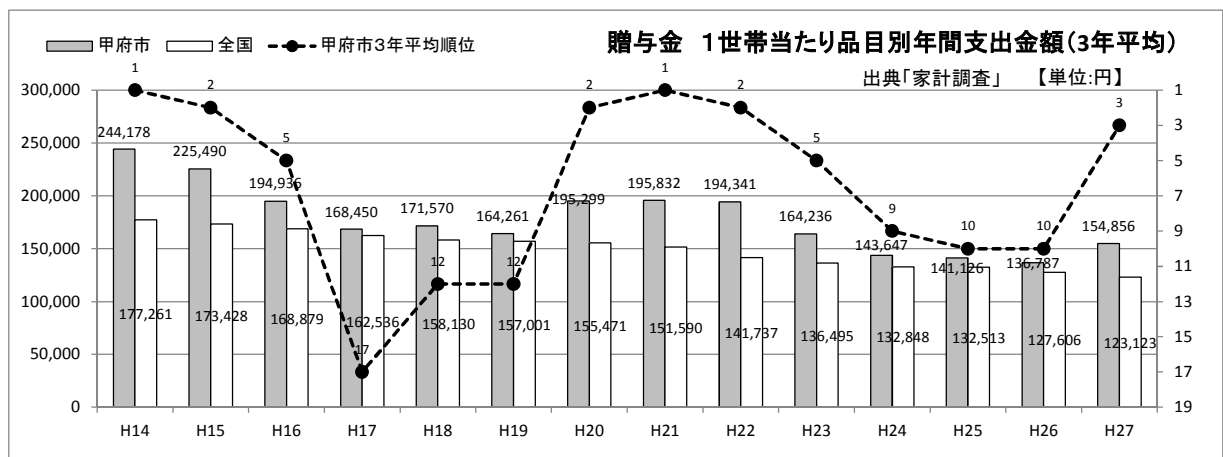
今回は交際・付き合いに関する統計を見てみます。

まずは、総務省統計局『家計調査』の「贈与金」支出金額に注目してみます。

ここでいう「贈与金」とは、せん別、香典、見舞金、祝儀、結納金などに支出した金額のことです。

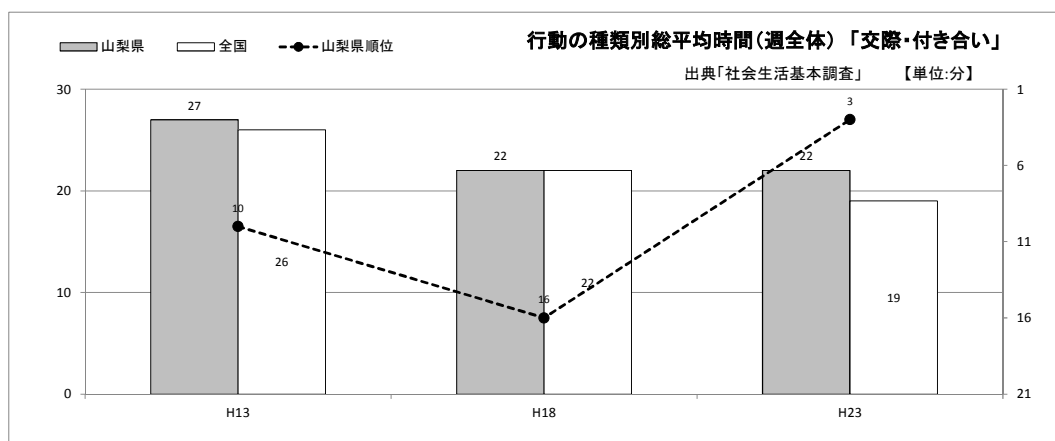
次の順位は都道府県庁所在市で比較していますが、甲府市はこの14年間、全国平均を上回る支出金額であり、順位でも上位（10位以内）が8年間も続いています。

やはり、支出金額からも「お付き合い」を大切にしている様子うかがえます。



次に、時間に注目してみると、総務省統計局が5年ごとに調査している『社会生活基本調査』のデータでは、知人と飲食、冠婚葬祭、同窓会、見舞いなどの行動である「交際・付き合い」の時間は、平成23年では22分（総平均時間・週全体）で全国第3位。

過去の調査3回とも全国平均以上という結果になっています。



山梨県民の、人とのお付き合いを大切にする県民性は、支出額・時間を調べた統計調査結果からも裏付けできそうです。

本年10月に、5年ごと・9回目の『平成28年 社会生活基本調査』が実施されます。調査員が訪問した際には、ご協力をお願いします。